

## 《 「会話だけやりたい」 人への指導方針 》

中級以上の方⇒ご希望どおり進めてください

中級以下の方⇒文法・語彙の学習を中心としながらも、  
「会話できた!」と実感できる時間を提供できるようにしてください。

### 【中級以下の方の方の問題点】

- ①文法や語彙の勉強はつまらないと感じている
- ②教科書の例文がいつ使うかわからなく面白くないので、文法も頭に入らない
- ③そもそも会話に文法や語彙は必要無いと思っている
- ④勉強をしなくても会話だけすれば会話できるようになると思っている
- ⑤以上の理由で何度も挫折していて、結果的に勉強が身につかない

### 【このタイプの傾向】

「正しい勉強法」は理解できる（理屈OK）  
でも「つまらないと続かない」（感情優先）  
過去に挫折経験あり（＝自信は低め）  
ただし言語感覚は悪くない（ちゃんとやれば伸びる）  
「楽しくない」と感じると離脱リスク高い

### 【解決方法】

③④に関しては、「会話をするには文法・語彙が必須」ということを説明してあげてください。

単純に勉強方法を知らないだけなので、教えてあげるとその通りにがんばってくれる方がほとんどです。

#### ✕ダメ

「それじゃあ会話伸びません」など生徒の意見を全否定する  
文法説明だけで終わる  
理解したけど話してない

#### ○理想

今日習った文法で必ず2～3文は自分の話をさせる  
「あ、言えた」が毎回ある

①②⑤については、教科書の例文をそのまま使うのではなく、

本人が興味のある話題で進めてください。

### 👉 教材は“素材”扱いにする

具体👉

教科書の例文 → そのまま使わない

「〇〇さんの場合なら？」に変換

趣味・日常・感情に寄せる

例👉

「カフェで注文」→

👉 「実際によく行くお店の話」へ変換

## 「成長実感と言語化してあげる」

このタイプは“自分で成長に気づきにくい”  
ので、講師が気づかせてあげてください。

「前より文章長くなってます」

「助詞かなり自然です」

「前回できなかったの、今日できてます」

👉 これを毎回1つ言うだけで継続率がUPします。

## 【やってはいけないこと】

「正しいけどつまらない」を押し付ける

→一発で離脱します

**生徒の希望どおり、、フリー会話に逃げる**

→一時満足はするが、→伸びない→離脱

## 【結論：指導方針】

- ・基礎文法は必要だが、教科書そのまま進行はNG
- ・必ず「本人の話」に変換すること
- ・1レッスンで最低5分以上は会話時間を確保
- ・新しい文法は「使わせて終わる」
- ・毎回1つ成長を言語化して伝える

## 【生徒へのご案内例】

この方は、まだ基礎の文法・語彙・発音ができていない段階から、「文法の勉強はつまらないので、フリートーキングだけやりたい」というご要望でした。

それに対し、事務局からご案内した内容です。

現在は、講師の適切な指導のおかげで、学習を楽しく継続していただいています。参考にしてください。

●●様

いつもご利用いただき、誠にありがとうございます。

ハングルネット事務局の佐々木です。

このたびは学習スタイルについてのご希望をお聞かせいただき、ありがとうございます。

「フリー会話中心で学びたい」というお気持ちはとてもよく分かりますし、楽しく学べることは継続の面でも非常に大切だと私共も考えております。

一方で、これまでの受講状況をもとに講師陣とも確認させていただいた結果、現段階では会話に必要な基礎文法・語彙の蓄積が不足しているため、フリー会話中心の学習では効果が出にくい可能性が高い、というのが率直な見解でございます。

語学学習においては、「インプット(文法・単語)」が一定量ない状態でアウトプット(会話)を増やしても、

- ・言いたいことが言えない
- ・同じ表現ばかり繰り返してしまう
- ・誤った表現が定着してしまう

といった状態になりやすく、結果的に上達が遅れてしまうケースが多く見受けられます。

そのため、現在の段階でフリー会話のみを中心としたレッスンをご案内することは、学習効果の観点から当校としてはあまり推奨いたしません。

韓国語学習においては、以下の順で学習することが、最速で「会話力」を身に着ける再現性のある方法となります。

- ①ハングルの読み書きと正しい発音
- ②基礎の文法・語彙の習得

### ③会話練習

特に②の土台が不十分なまま③を増やしても、使える表現の幅が広がらず、「頑張っているのに伸びない」という状態になりやすいです。

●●様は現在②を学習するステージにおられますので、まずは「できる韓国語」などの教材を用いて、基礎文法と語彙を一定レベルまで積み上げていただくことが、結果として「自由に会話できる力」への最短ルートになります。

ただし、まったく会話ができないということではなく、

- ・レッスン内で会話練習の比重を増やす
- ・習った内容を使って実践的に話す

といった形であれば、ご希望に近いスタイルでの受講も可能でございます。

- ・ロールプレイングの設定がつまらない
- ・自分が使わない例文シチュエーションが面白くない

という問題点をご提示いただきましたので、

これからは教材での文法・語彙をしっかりと学習しながらも、

- ・●●様の興味のある話題で会話練習をする

という点をしっかりと実施してまいります。

この改善により、「インプット(文法・語彙)」をしっかりと学習しながらも、勉強が「楽しい」と感じていただけ、結果的にしっかりと「会話力のアップ」につなげていきます。

少し率直なご案内となりましたが、●●様にしっかりと「話せる力」を身につけていただくために、最適と考える方法をご案内させていただきました。

なお、「文法・語彙は独学や他スクールで学ぶので、会話練習のみ行いたい」という場合には、フリー会話中心のレッスンのご案内も可能でございますので、その際は遠慮なくお知らせください。

最後に、「検定や留学は全く興味が無い」とのことですが、実は「会話力向上」に、TOPIK受験は非常に有効な学習手段の一つです。

なぜなら、会話に必要な文法や語彙を体系的に総整理できることと、「聞き取り問題」には会話に必要な「正しい発音の習得」が必要不可欠であることから、

結果的に会話力の向上につながるからです。

今まで勉強していた「点」と「点」が「線」になって理解が深まる体験を体感していただけたと思います。

以上の理由から、ハングルネットでは「会話」だけが目的の方にもTOPIKの受験を積極的にお勧めしております。

「必須ではないが、やると一気に伸びる選択肢」として、頭の片隅に置いていただけますと幸いです。